

令和 6 年 9 月

富 山 市 議 会 定 例 会

市 長 提 案 理 由 説 明 要 旨

令和6年9月市議会定例会の開会に当たり、提出いたしました案件の概要等について申し上げます。

(はじめに)

はじめに、パリオリンピックについて申し上げます。去る7月26日から17日間にわたり、各国を代表するアスリートによる熱い戦いが繰り広げられました。

日本選手団は、今回のオリンピックで、海外大会最多となる金メダル20個を含む45個のメダルを獲得し、私たちに多くの感動と興奮、そして夢と希望を与えてくれました。

本市出身の選手では、スケートボード女子ストリートの中山楓奈選手が7位に入賞され、難易度の高い技に果敢に挑む姿に勇気をもらいました。また、水球男子の稲場悠介選手や、今回初出場となった重量挙げ男子102キロ超級の村上英士朗選手など、多くの選手が出場されました。

さらに、現在開催中のパリパラリンピックでは、ボッチャ女子個人戦において、本市在住の藤井友里子選手が5位に入賞されました。

オリンピックやパラリンピックという大きな舞台でご自身の力を存分に発揮し、活躍されている姿に大きな感動を覚えるとともに、そこに至るまでの^{たゆ}まぬご努力に深く敬意を表する次第であります。

(来年度予算編成について)

次に、来年度予算編成に向けた考え方について申し上げます。

国は、本年6月に「経済財政運営と改革の基本方針2024」を策定され、デフレから完全脱却し、日本経済を成長型の新たなステージへと移行させるとともに、少子高齢化や人口減少を克服し、国民が豊かさと幸せを実感できる持続可能な経済社会の実現に取り組むこととされています。

この方針を受け、令和7年度予算の概算要求基準では、持続的な賃上げの実現、少子化対策・こども政策の抜本的強化など、重要政策課題に対応するため、「重要政策推進枠」を措置することとされています。

また、物価高騰対策等については、事項のみの要求が認められるなど、今後の国の予算編成の動向に注視していく必要があります。

一方、本市の令和7年度予算を取り巻く財政環境については、依然として、大変厳しいものになると予測しております。

まず、歳入については、市税では、給与所得の増加などにより市民税は本年度当初予算と比較して増収が見込まれ、固定資産税についても、家屋の新增築などにより増収となり、市税全体としては、本年度の当初予算を上回るものと見込んでおります。

また、臨時財政対策債を含めた実質的な地方交付税について、国は、

地方の一般財源の総額を本年度の水準を下回らないよう同水準を確保することから、市税と合わせた一般財源総額についても、本年度の当初予算を上回るものと見込んでおります。

次に、歳出では、義務的経費である人件費、扶助費、公債費がいずれも増加すると見込まれるとともに、災害からの復旧・復興を優先する中で、第2次総合計画をはじめ各種計画に位置づけた事業等の着実な推進を図る必要があります。

また、令和8年4月の開校に向けた水橋学園の整備や、来年4月に着工予定の総合体育館の改修など、大きな財政需要が見込まれ、極めて厳しい予算編成になるものと考えております。

なお、私の任期が来年の4月23日に満了となるため、令和7年度予算は骨格予算として編成することになりますが、国の動向や、能登半島地震、物価高騰などの影響等を十分に見極めながら、予算の重点的、効率的な配分に努めてまいりたいと考えております。

（提出案件について）

次に、提出いたしました案件について、その概要を申し上げます。

（1 予算案件について）

予算案件については、令和6年能登半島地震関連や国・県の追加承

認に伴うものなどの補正を行うものであり、一般会計では 27 億 2,300 万余円を追加するものであります。

また、特別会計では、競輪事業などにおいて、50 億 9,200 万余円、企業会計では、病院事業などにおいて、200 万余円を追加するものであります。

次に、歳出予算の主な内容について申し上げます。

(①令和 6 年能登半島地震関連)

まず、令和 6 年能登半島地震関連として、「公共インフラの復旧」のため、崩壊した呉羽ハイツ北側斜面や、被災した林道の復旧に要する経費などを計上しております。

(②国・県の追加承認に関するもの)

次に、国・県の追加承認に伴うものとして、介護事業所に対する老朽化した施設の修繕費用の助成に要する経費や、農業者に対する物価高騰対策緊急支援事業補助金の支給に要する経費などを計上しております。

(③その他の事業)

その他の事業といたしましては、決算剰余金の一部を財政調整基金や減債基金に積み立てる経費のほか、水橋学園の用地取得に要する経費や、総合体育館R コンセッション事業における基本設計等に要する経費、また、クマの出没情報を発信するためにA I カメラと防災行政無線を連携させるシステム開発等に要する経費などを計上しております。

(④特別会計)

特別会計では、介護保険事業特別会計において、前年度未処分剰余金を基金に積み立てるものなど、企業団地造成事業特別会計において、第2期呉羽南部企業団地の土地売払いに伴う長期債償還元金など、競輪事業特別会計において、車券売上収入の増加に伴う払戻金などに要する経費を計上しております。

(⑤企業会計)

企業会計については、病院事業会計において、県の追加承認に伴い、簡易陰圧装置の購入に要する経費を計上しております。

また、農業集落排水事業において、企業会計移行に伴い計上している特例的収入及び支出の変更を行うものであります。

以上が歳出のあらましですが、これらに要する財源として、一般会計では、事業に伴う国・県支出金や地方債及び繰越金などを充てております。また、特別会計では、競輪事業収入や繰越金など、企業会計では、県支出金を充てております。

次に、継続費及び債務負担行為について申し上げます。

まず、継続費については、一般会計において、橋りょう維持補修事業費の変更を行うものであります。

債務負担行為については、一般会計において、水橋学園のスクールバス運行等事業や小・中学校の給食調理等の業務委託など8件について、病院事業会計では、市民病院給食業務委託など2件について、それぞれ限度額を設定するものであります。

（２ その他の案件）

次に、予算以外の案件について申し上げます。

まず、条例案件については、「富山市市税条例の一部を改正する条例」を制定するものなど5件であります。

契約案件については、熊野小学校長寿命化改良（その１）主体工事の請負契約を締結するものなど6件であります。

その他の案件については、財産取得の件など7件であります。この

うち、財産取得の件（追認）２件につきましては、小学校の教科書改訂に伴う教師用教科書・教師用指導書の購入に当たり、必要な議決を経ていないことが判明したため、財産の取得の追認の議案を提出するものであります。今後こうした事態を繰り返すことのないよう、再発防止に万全を期してまいる所存であります。

承認案件については、専決処分について承認を求めるもの２件であります。

報告案件については、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定に基づき、令和５年度決算における健全化判断比率及び資金不足比率について、監査委員の意見を付して報告するものなど５件であります。

また、決算の認定については、令和５年度一般・特別・企業の各会計について、監査委員の審査を経ましたので、議会の認定を求めるものであります。

以上が、今回提出いたしました案件の概要であります。ご審議の上、議決を賜りますよう、お願い申し上げます。